

田中理事長、就任後初となる海外出張でフィリピンを訪問

01



ミンダナオ島で職業訓練センターを運営するNGOを訪れた田中理事長(左)

今年4月に就任した田中明彦JICA理事長が、4月30日～5月6日にフィリピンを訪問しました。5月1日、田中理事長は30年以上に及ぶ紛争の影響によりいまだ貧困率が高いミンダナオ島中部のコタバトを訪問。ムスリム・ミンダナオ自治政府のムジブ・ハタマン知事や国際監視団(IMT)のアブドゥル・ラヒム団長らと面談し、フィリピン政府との和平交渉について意見交換を行いました。また、日本の協力による人材育成やコミニティーレベルの小規模インフラ整備、IMTに派遣中のJICA職員の活動などを視察し、JICAがミンダナオの和平プロセスを支える重要な役割を果たしていることを確認しました。



ADB総会で開催された各国代表団対象のセミナーでゲストスピーカーとして発言

5月2、3日には、マニラ首都圏で運輸・交通や洪水対策などのインフラを中心としたJICA事業を視察。近年、経済が好調にもかかわらず新規投資が進んでいない都市インフラ整備の必要性とともに、住民移転や居住地整備などの課題を指摘しました。

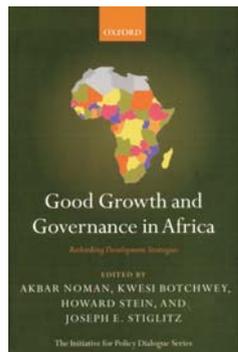
5月4日にはベニグノ・アキノ3世大統領と面談。ミンダナオ島の和平が達成されれば同島の紛争影響地域への支援拡充を検討したいこと、マニラ首都圏のインフラ整備に向けて現政権が進める官民連携への協力の可能性を伝えると、アキノ大統領も和平に関する人材育成の必要性に同意。マニラ首都圏では公共交通の改善が急務であると述べました。

さらに、5月2～5日にマニラで開催されたアジア開発銀行(ADB)の総会にも出席。田中理事長はインドネシアのアグス・マルトワルドヨ財務大臣やインドのプラナブ・ムカジー財務大臣とインフラ整備の重要性など各国に合わせた支援について議論したほか、黒田東彦ADB総裁や米州開発銀行など各機関の総裁とも今後の連携方針などについて意見を交換しました。

同総会初の試みとして開催されたのが、財務大臣など各国代表団を対象としたフィリピン政府主催のセミナー。ゲストスピーカーとして発表を行った田中理事長は、「2050年のあるべきアジアに向け、すべての人々が恩恵を受ける成長を促進するための前提は、平和。金融アクセスの改善、社会的セーフティー・ネットの充実、医療保険、年金制度の改善、税制改革が必要」と強調しました。

コロンビア大学スティグリッツ教授との共同研究が書籍化

02



IPDとJICAの共同研究の成果をまとめ、アフリカ開発の必携書に

アフリカがアジアの成長から学べることは何か。コロンビア大学政策対話イニシアチブ(IPD)とJICAの共同研究をまとめた書籍『Good Growth and Governance in Africa(アフリカにおける良い成長とガバナンス)』が、オックスフォード大学出版会から発売されました。

IPDはノーベル経済学賞を受賞したコロンビア大学のジョセフ・スティグリッツ教授が主宰するシンクタンク。第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)で、JICAが同教授やアフリカ各国元首などと、開発における政府の役割を議論したことをきっかけに、JICAとIPDが共同研究を行うことになり、この書籍はその成果の第一弾です。

著者は、花谷厚・元JICA研究所 上席研究員(現JICA南スーダン事務所長)、渡邊松男・元JICA国際協力客員専門員(現新潟県立大学准教授)のほか、エチオピアのメレス・ゼナウイ首相や政策研究大学院大学の野健一、大野泉両教授ら27人。アフリカの経済成長や貧困削減に向け、アジアの成功例から教訓を導き出すことがねらいです。

4月9日には国連本部で出版を記念するシンポジウムが開催され、JICA研究所の細野昭雄所長のほか、アフリカ各国の国連大使らが議論を交わしました。

国際協力の現場を視察する「国際協カレポーター」を募集中!

03



国際協力の現場に足を運ぶチャンス!

現在、180以上の国・地域で、インフラや教育、医療分野などさまざまな開発に貢献している日本の政府開発援助(ODA)。しかし、ODA事業がどのように実施され、開発途上国の人々にどう役立つているのかなど、その実情が見えづらいという一面があります。そこで、海外にある日本の国際協力の現場を実際に訪問し、そこで見たこと、感じたことを帰国後に報告いただく「国際協カレポーター」を募集しています。今年8月下旬に約一週間、ウガンダとスリランカに各10人を派遣します。ご関心のある方はぜひ応募ください。

応募方法… 応募用紙に必要事項と国際協カレポーターの回答を記入し、応募動機、帰国後のレポート活動計画書とともに郵送。

応募先… 〒102-0082 東京都千代田区一番町23番地3 日本生命一番町ビル5階 (公社)青年海外協力協会内 国際協カレポーター運営事務局

応募締切… 6月18日(月)必着

問い合わせ… 国際協カレポーター運営事務局

TEL… 03-3556-0592

Eメール… jica.reporter@jica.or.jp

URL… www.jica.go.jp/hiroba/menu/reporter/index.html (応募用紙をダウンロード可)